

特定行為研修修了者とともに 訪問診療の現状

医療法人社団勝優会 するがホームクリニック
医師 齋藤 勝也

自己紹介

■経歴

- 1995年3月 東京慈恵会医科大学卒業
- 1995年4月 同附属病院麻酔科研修
- 1997年3月 同附属病院消化器肝臓内科レジデント

- 2000年7月 社会保険（JCHO）桜ヶ丘総合病院 内科医長

地域医療との出会い

- 2002年 7月 東京慈恵会医科大学消化器肝臓内科助教
- 2009年10月 医療法人財団医親会 海上ビル診療所 医長
- 2012年 5月 するがホームクリニック院長
- 2013年10月 医療法人社団勝優会 理事長
- 2014年 4月 たまち徳栄ビル(現たまちホームクリニック) 開院
- 2015年10月 住宅型有料老人ホーム ホスピタルケア白金高輪運営開始
- 2018年 7月 するがホームEクリニック(沼津) 開院

医療法人社団勝優会

法人紹介

CLINICS

関連施設



東京都港区

たまちホームクリニック

- 居宅：約60名
- 施設：約15名



静岡県富士市

するがホームクリニック

- 居宅：約230名
- 施設：約470名



静岡県沼津市

するがホームEクリニック

- 居宅：約160名
- 施設：約180名



東京都港区

ホスピタルケア白金高輪

- 住宅型有料老人ホーム
- 定員18名

- 居宅合計：450名
- 施設合計：665名
- 総合計：1105名

医療法人社団勝優会

法人紹介



医療法人社団勝優会

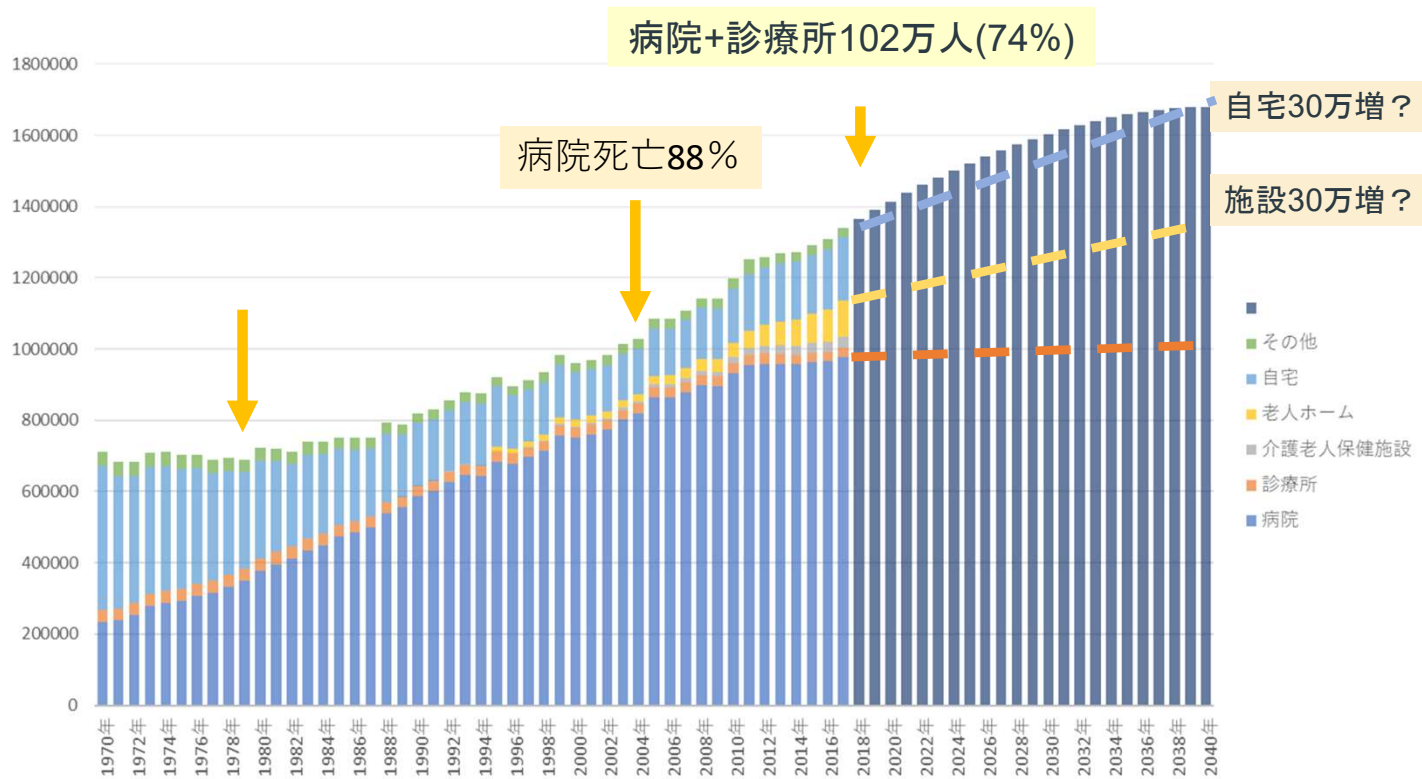


医療法人社団勝優会

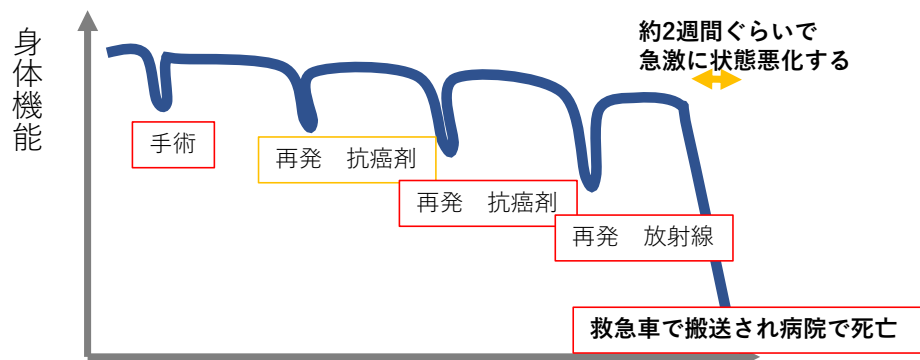
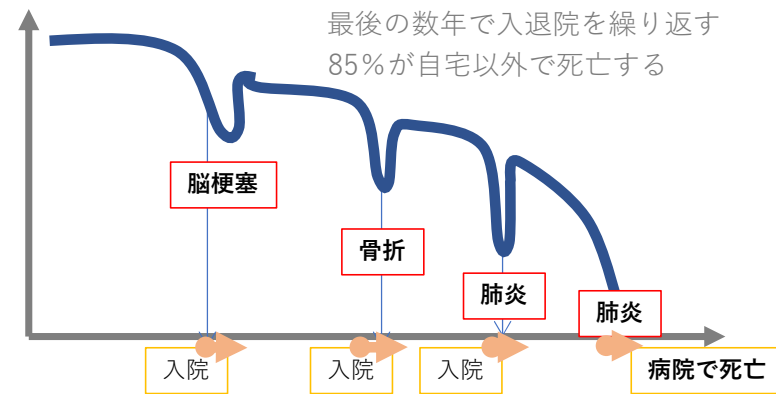
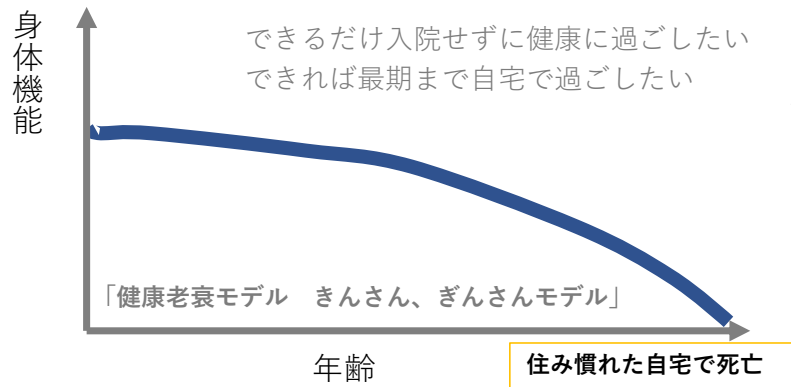
自分達の考える在宅医療

- 1, 看取り支援
- 2, 入院抑制

死亡の場所別にみた年次別死亡数と将来推計



2017年までは「統計で見る日本」より
 2018年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」
 データより作成



June R. Lunney, et al (2003).
Patterns of Functional Decline at the End of Life
 JAMA. 2003;289(18):2387-2392.
 doi:10.1001/jama.289.18.2387
 より改変

下記の疾患・医療機器の管理が在宅で可能です。

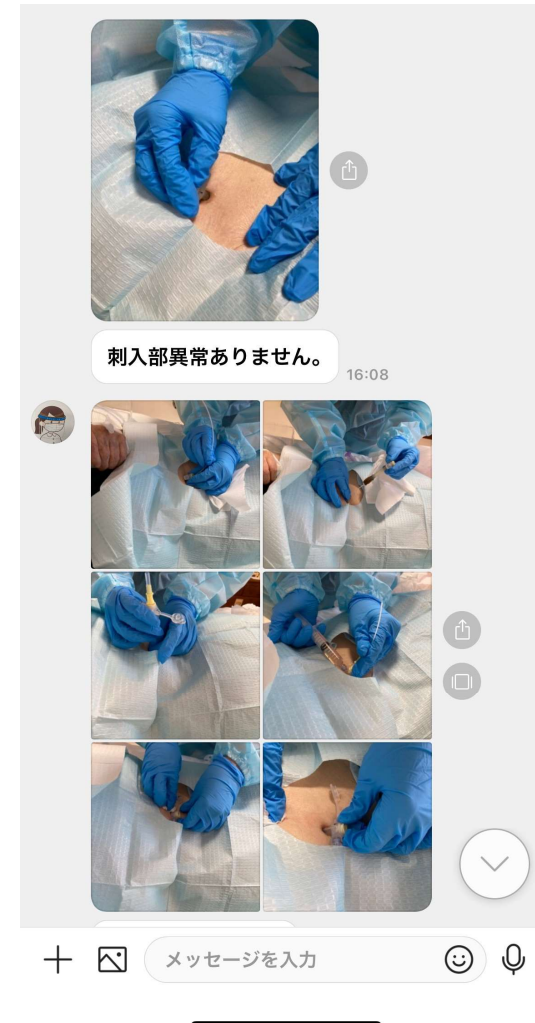
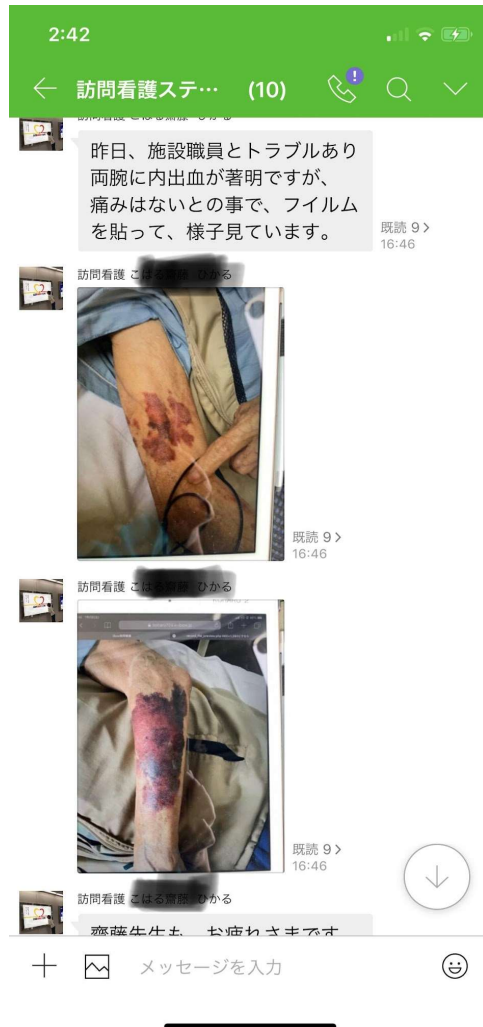
訪問看護師、訪問薬剤師、訪問介護士と連携し、家族の支え、本人、家族の希望と覚悟があれば、ほぼあらゆる状態に対応可能と考えています

- 末梢からの点滴・注射
- インスリン・自己血糖測定
- 在宅酸素療法
- 外傷や褥瘡などの処置
- 疼痛の管理・麻薬の管理
- 経管栄養法
- 中心静脈栄養法
- 尿道留意カテーテル・膀胱瘻・胃瘻
- 人工呼吸器管理

当院HPより抜粋

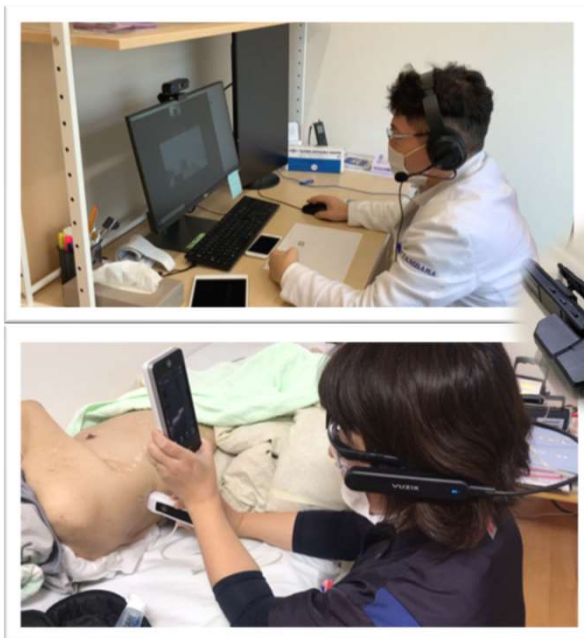


医療法人社団勝優会





医療法人社団勝優会



- Vuzix社のスマートグラスを活用
 - スピーカー、マイク、Zoomシステムが内蔵されており、院内医師と訪問看護師連携のリモート対応が実現
- 心エコー検査を実施し、患者さんの様子をリアルタイムに情報共有
- COVID19の影響もあり、患家での密を避けることやスタッフの感染リスク軽減にも寄与

当院で特定行為研修修了者と共に 訪問診療をして感じたメリット

- 1, 訪問診療時間の短縮
- 2, それに伴う受け入れ患者の増加
- 3, 医学管理に集中できる
- 4, 診療報酬のアップ

ご静聴ありがとうございました